

取付マニュアル／
クイックマニュアル

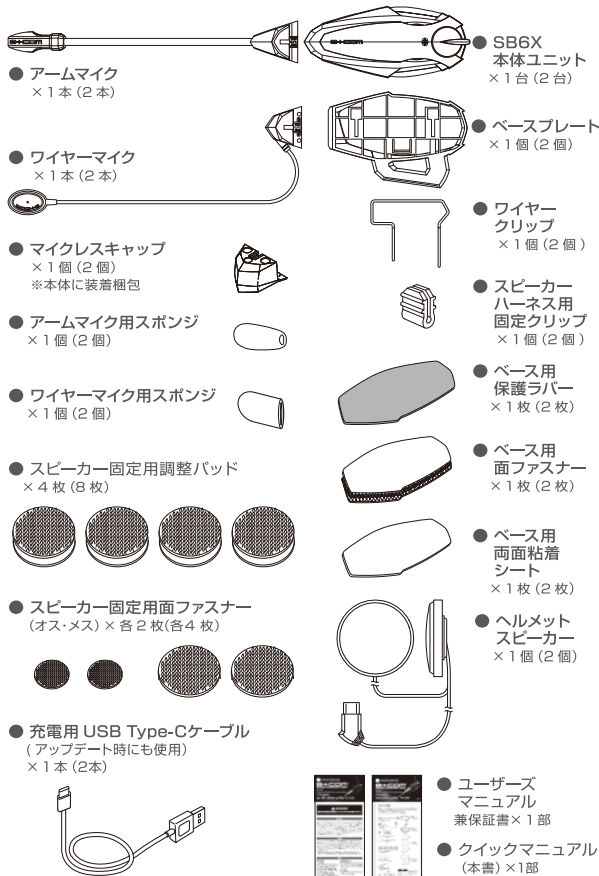
TYPE:SB6X

17.07

セット内容

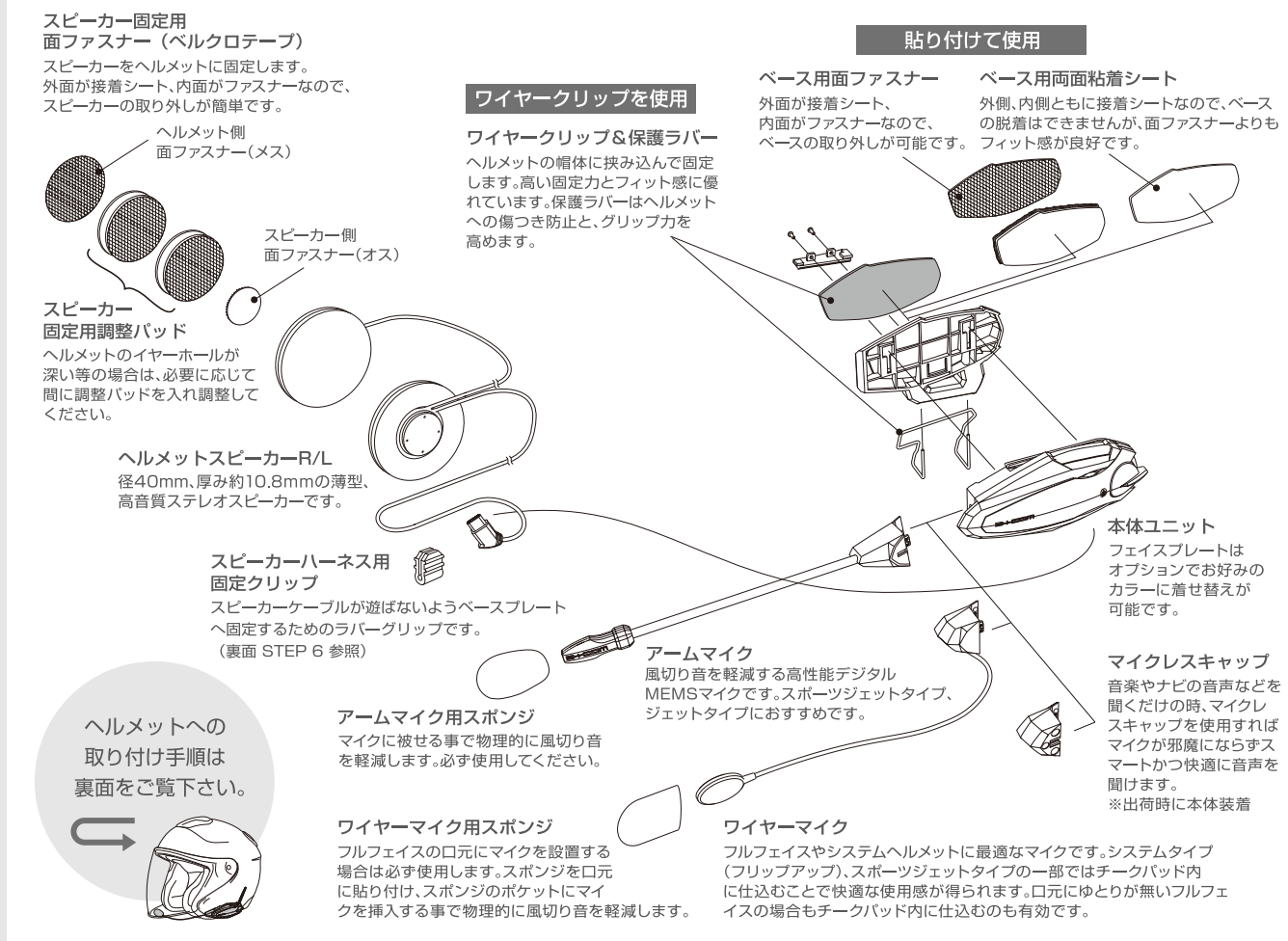
製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一不足がございましたら、お手数ですがお問い合わせいただいた販売店までご連絡ください。

※カッコ内は「ペアユニット」にセットされている数量です。

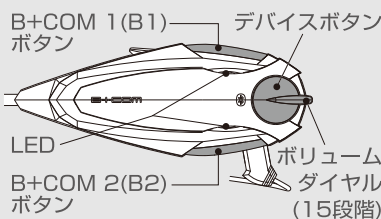


B+COM SB6Xの構成

B+COM SB6Xは、
下記のような構成になっています。

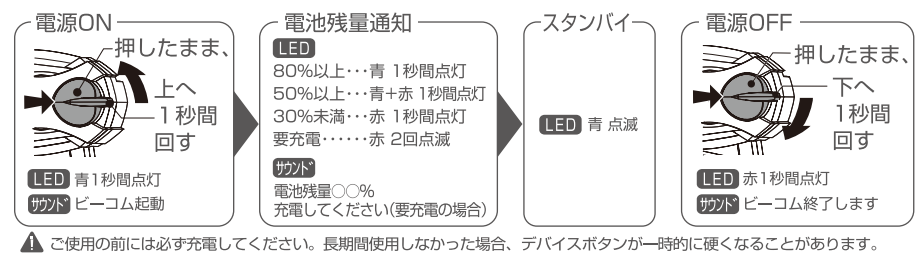


使用方法



STEP 1 電源を入れてみよう

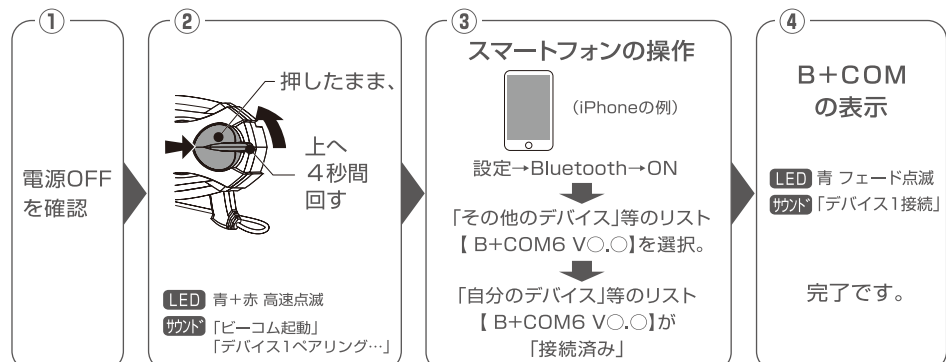
⚠ ALL リセットにつきましてはユーザーズマニュアルをご参照ください。



STEP 2 スマートフォンと接続して音楽や電話をしてみよう

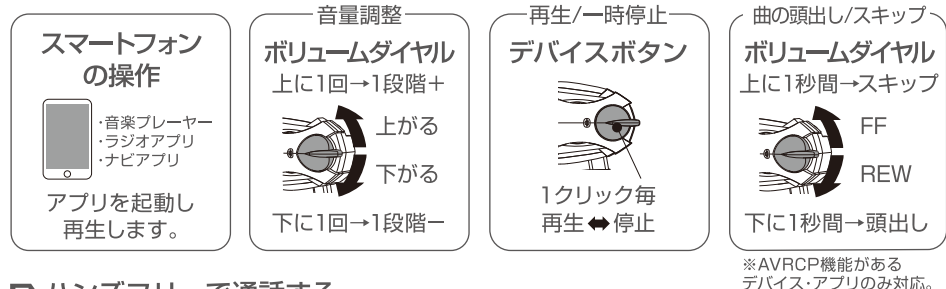
Ⅰ B+COMとスマートフォンをペアリング(初期登録)する。

デバイスとの接続をしない方はSTEP3へお進みください ▶

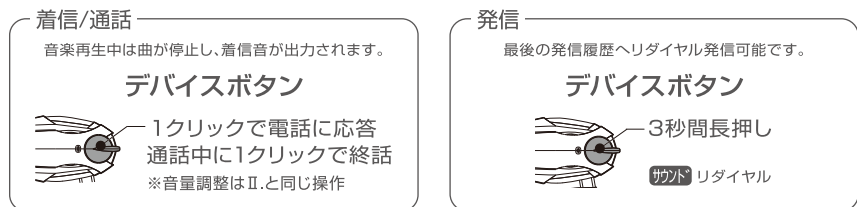


一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに自動で接続が可能です。

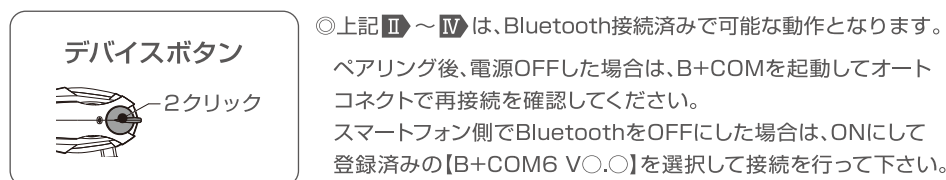
Ⅱ 音楽やラジオ(アプリ)、ナビ音声案内を聴く。



Ⅲ ハンズフリーで通話する。



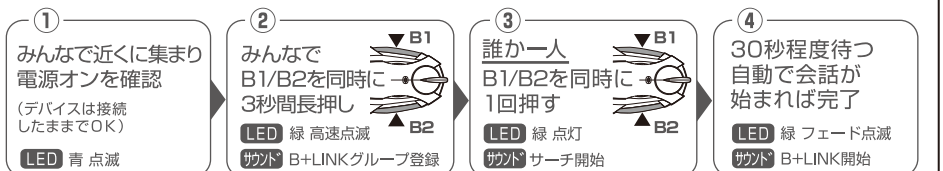
Ⅳ Siri等の音声認識起動



STEP 3 B+COM同士で通話してみよう B+LINK

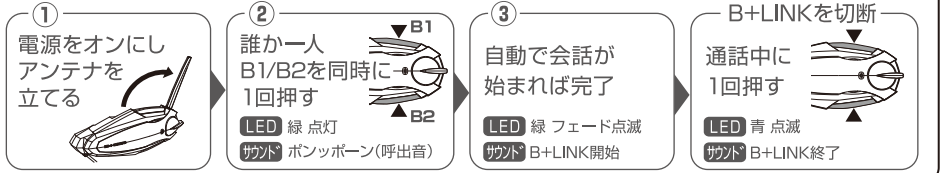
●SB6X同士のB+LINK通話の場合

Ⅰ SB6X同士を最大4台で同時にペアリング(初期登録)する。



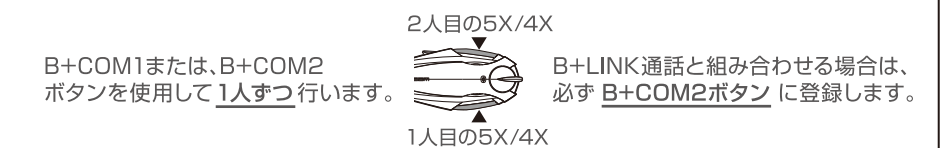
この操作(ペアリング)は、グループが集めた際に最初だけ必要です。

Ⅱ ペアリング済みのSB6X同士でB+LINKグループ通話する。

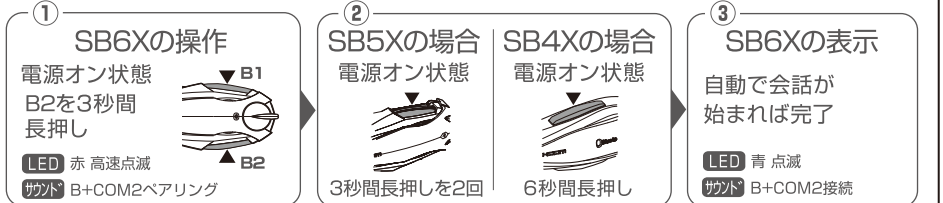


●SB5X、SB4X/Liteとの通話の場合

Ⅰ SB5X、SB4X/Liteとペアリング(初期登録)する。



●B+COM2ボタンに登録する場合



Ⅱ ペアリング済みのSB5X、SB4X/Liteと接続して通話する



取り付け手順

B+COM SB6Xの音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

装着時の注意点

●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。●内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。●接着シートで貼り付けるパーツは、取り付け位置を仮決めて、操作に支障がないことを確認した後、接着面を清掃、脱脂を行ってから貼り付けてください。●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間にに入れてください。●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

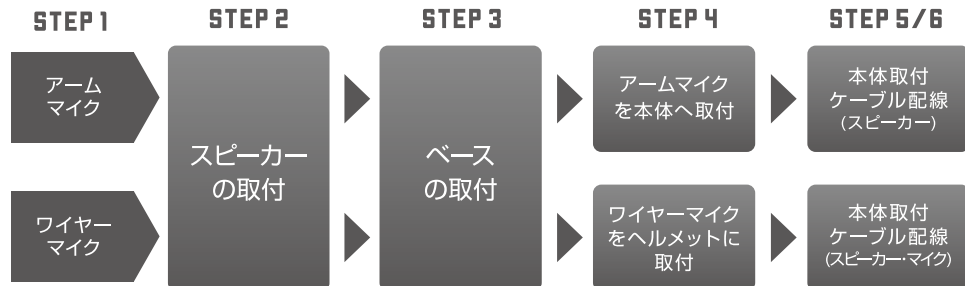
STEP 1 ヘルメットに合うマイクと、取り付け手順を確認しよう

I ヘルメットの種類に合わせてマイクを選びます。

	フルフェイスタイプ	システムタイプ	スポーツジェットタイプ	ジェットタイプ
アームマイク	△	△	○	○
ワイヤーマイク	○	○*	○*	×

※チークパッド内に入るタイプのみ

II マイクの種類に合わせて順番に取り付けます。



STEP 2 スピーカーを取り付けよう

イヤースペースが見えるタイプ (SHOEI社製、ジェットタイプなど)

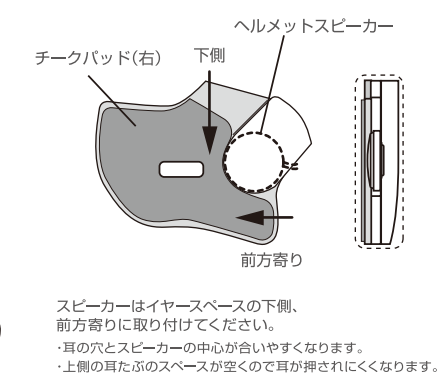
面ファスナーをスピーカー設置場所のヘルメット面にメス側、スピーカーの裏面にオス側を貼り付けスピーカーを固定します。



※ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向になります。また、フルフェイスタイプであってもシールドの半開きやエアインタークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

チークパッド(システムパッド)のイヤースペースが布で覆われ脱着できるタイプ(Arai社製など)

チークパッドを取り外し、布の中へスピーカーを入れて面ファスナーで固定してください。



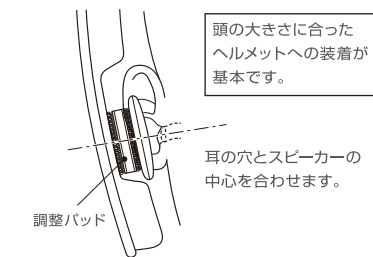
重要

POINT

取り付ける前に本来の音量・音質を確認しましょう！

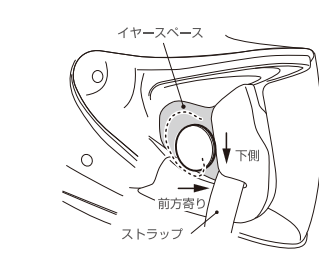
スピーカー単体を耳にあて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聴こえることが重要です。位置が適正でない、「耳が痛い」、「スピードを上げると聴こえない」、「(音量を上げると)ノイズがひどい」といった症状になります。

耳にやさしくフィットするよう調整パッドで隙間を調整してください。



- 隙間が大きい
→本来の音量、音質が得られない可能性があります。
- 耳の中心からずれている
→本来の音量、音質が得られないだけでなく、長時間の使用で耳が痛くなる可能性があります(特に耳の上部)。

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに、ストラップの付け根に寄せるように取り付けてください。



- 耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
- 上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなり使用中に耳が痛くなくなります。

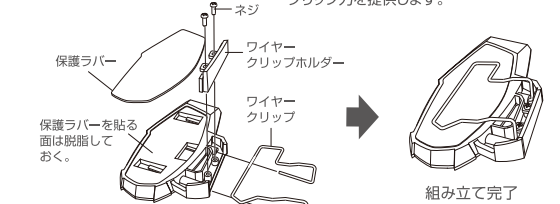
STEP 3 ベースを取り付けよう

組立には精密ドライバー#1が必要になります。

ベースの取付方法は3種類ありますので、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。また、アーム型マイクを使用する場合は、マイクが口元の位置にくるようにアームの長さを考慮の上、ベースの位置を仮決めてください。

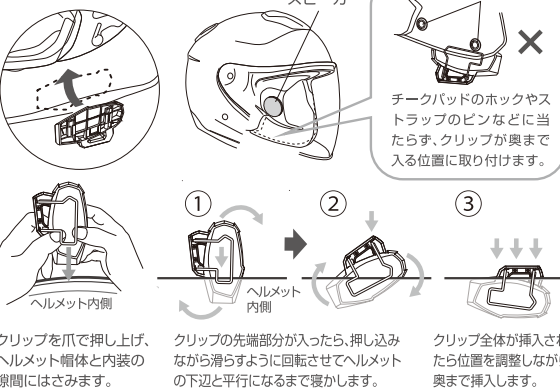
ワイヤークリップを使用

●ワイヤークリップの組立て

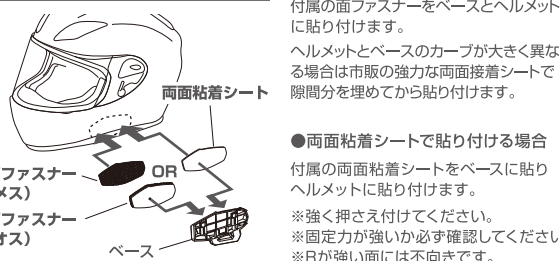


+の精密ドライバー(#1)でネジ、ワイヤークリップホルダーを取り外します。保護ラバーのシールをはがし貼り付けます。ワイヤークリップをはめ込み、外したワイヤークリップホルダーを取り付け、ネジで確実に固定します。

●ワイヤークリップの取り付け



貼り付けて使用



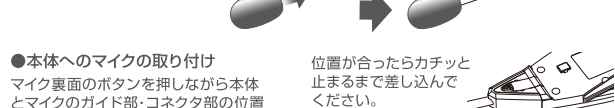
- 面ファスナーで取り付ける場合
付属の面ファスナーをベースとヘルメットに貼り付けます。ヘルメットとベースのカーブが大きく異なる場合は市販の強力な両面接着シートで隙間分を埋めてから貼り付けます。
- 両面粘着シートで貼り付ける場合
付属の両面粘着シートをベースに貼りヘルメットに貼り付けます。
※強く押さえ付けてください。
※固定力が強いかわり必ず確認してください。
※Rが強い面には不向きです。

STEP 4 マイクを取り付けよう

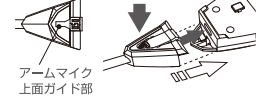
マイクの脱着はベースから本体を外してから行ってください。

アームマイク

●マイクスポンジの取り付け

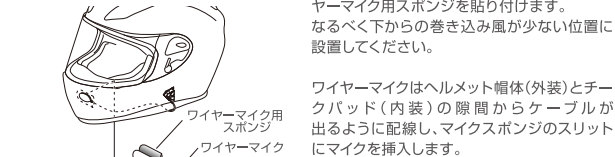


●本体へのマイクの取り付け



ワイヤーマイク

●マイクスポンジの取り付け

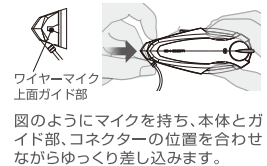


●システムヘルメットや頬パッドの外布が外れるスポーツジェットの場合

システムタイプ/スポーツジェットタイプのヘルメットでは、シールドの開閉時にマイクが邪魔にならないよう快適な使用感を得られます。マイクの位置は頬とスポンジに挟まれるできる限り口元に近い位置に入れます。

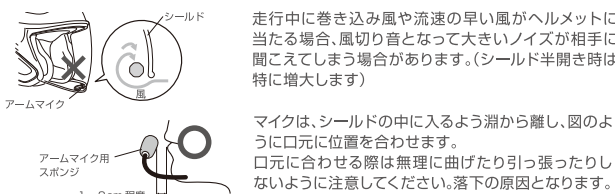
※スポーツジェットの場合、アームマイクに比べ声を拾う大きさは小さくなります。

●本体へのマイクの取り付け



マイクについての注意点

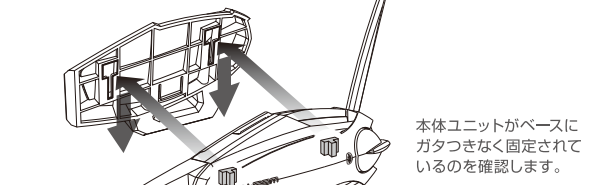
●マイク用スポンジは必ず使用。物理的に風切り音を軽減します。



STEP 5 本体を取り付けよう

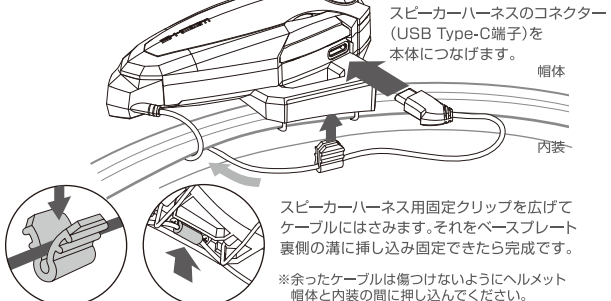
●本体ユニットのベースへの取り付け

本体裏側の突起部分をベースの穴に合わせて押し込み、下方にスライドさせながら止まるまで下げます。

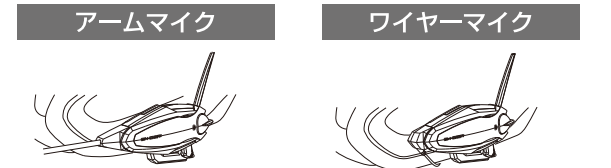


STEP 6 ケーブルを配線しよう

●ケーブル(ワイヤー)の接続



ワイヤーマイクと本体ユニット間のケーブル、ヘルメットスピーカーと本体ユニット間のケーブルは、内装とヘルメット帽体の間に通してください。クラシックジェットタイプ等内装が外せない場合は、ヘルメット淵の帽体と内装の間にスピーカーケーブルを傷つけないように押し込んでください。



ケーブルの、折り曲げ、引っ張り厳禁！

それでもわからない場合は！
サインハウスカスタマーサポートをご利用ください！

お電話で 03-5483-1711
インターネットで www.bolt.co.jp